

真夏の日差しがキラキラと照りつける日が続いていますがみなさん夏バテしていませんか？
夏はイベント盛りだくさん！
キャンプやビーチ、BBQ などでも是非ダンスタイムをお楽しみください
JSDC はお盆も通常通り開講しております。
久しぶりに会った御親戚、お友達もお誘いして1回だけのレッスンも一緒にお楽しみいただけます♪



What's New?

～JSDC によるイベント、講習会のお知らせ～

♪JSDC 夏祭り

日時：8月4日(土) 19:00-21:30
場所：渋谷プライベートスタジオ
料金：2,000円 + 1品
沢山のフリーダンス、ゲーム、ミニレッスン
今年はお好み焼きと焼きそば！皆さんで楽しみましょう！

♪8月のタンゴブラクティカ

日時：8月11日(土) 19:00-21:30
場所：渋谷プライベートスタジオ
料金：2,500円 or 練習会チケット

♪8月のラテンナイト

日時：8月25日(土) 19:00-21:30
場所：渋谷プライベートスタジオ
料金：2,500円 or 練習会チケット

初心者の方も積極的にご参加下さい！

※すべての練習会共通 初参加の方は1,000円で参加できます♪

9月からのイベント

- ★9月1日(土) オリエンテーション
タンゴブラクティカ
- ★9月3日(月) シニア日帰り温泉ツアー
- ★9月15日(土) ラテンナイト
- ★9月22日(土) アメリカンスタイル練習会



シニアアフタヌーンパーティー

8月6日(月) 13:00～15:20

用賀地区会館 料金 2,000円

(スナック&ソフトドリンク付き)

持ち寄り大歓迎です

皆さん踊っておしゃべりして楽しみましょう♪



夏祭り

8月4日(土)19:00～21:30

渋谷プライベートスタジオ

¥2,000 + 1品

沢山のフリーダンス、ゲーム、ミニレッスンあり！

今年はお好み焼きと焼きそばになりました！
さあ、どんなスタイルのお好み焼きが出るか？！



☆お友達をお誘いください☆

毎月開講のオリエンテーション♪是非お友達をダンスにお誘いの際はこちらをご紹介ください☆
ダンスの種目のご紹介、アメリカンスタイルって？スタジオご案内、イベント紹介、レベルアップやシステムの説明、料金、講師について、などなど、実際にレッスンを体験する前の疑問や不安を解消いたします♪
もちろんご希望の方は基本ステップを練習してダンスの楽しさを体感して頂きます。

We ♥ Dancing

～ヨシ矢野のダンスコラム～

～ヨーロッパペアダンス事情について～

私は、7月中旬から家族の関係でヨーロッパのチェコ共和国とウィーンに行く事になり、以前からヨーロッパの社交ダンス事情を実際に見てみたいと思っていましたし、あるヨーロッパによく行かれる日本の先生がおっしゃっていたヨーロッパダンス事情が本当かどうかわかめたいと思っておりました。

まず、チェコの首都ブラハの社交ダンス教室に行きました。入ってすぐ大きなバーカウンターがあり、お酒やスナックが置いてありました。勿論ダンス教室ですから部屋の中は明るいですが、右側にダンスフロア。13m×15mくらいで、4人掛けの椅子とテーブルが仕切られて周りを囲んでいます。左側は、長いバーカウンターになっていて、テーブルと椅子が沢山あり、飲みながら休憩できるようになっています。まだ開始まで1時間弱だったので、私はワインとスナックを注文して、バーカウンターにいた1人の年配の男性に色々質問させていただきました。

この小さなイベントを、ただ「ソーシャル」と呼んでいました。私どものジャパンソーシャルダンスクラブの「ソーシャル」と同じです。このイベントはJSDCで言えば練習会。夕方6時から10時まで。週3回。1回¥350くらい。クラスは？と聞くと、6月中旬から9月中旬までの3カ月はお休み。つまりバケーション。「エエ～、3ヶ月も？ちょっと信じられない。次に行くウィーンでも聞いてみよう。」

クラスの様子について聞くと、10回コースで成り立っていて、皆カップルで1人では受け付けられないと言います。では相手がいない人は相手を見つけてからでないとダンスは習えない事になる。と言うよりも、相手がいるからダンスと一緒に習おう、という感じだと思います。他にティーンネージュクラスがあり、このクラスは皆シングルで来るそうです。

6時になると少しずつ人が来始めました。皆カップルです。私は入れますかと聞くと、勿論お金を払えば入れるが多分踊れないから勧めない、と言われました。ダンスフロアを見ると4組くらいいて、2組は踊っていましたが2組は飲みながらパートナーとお話していました。ダンスは殆どインターナショナルスタイルでしたが、フォックストロットの曲が流れると、私達がやっているステップとはちょっと違うのですが、アメリカンスタイルのように時々パートナーと離れたりして踊っていました。

誰も音楽を担当している人がいなく、ただ編集してある曲を流しているようでした。バーの男性に聞くと、その人が音楽も担当していて、元この先生だと言っていました。まさに日本のヨーロッパに行く先生が言っていた通りでした。「ダンスの先生はバーでも働く」と。

ヨーロッパの社交ダンス事情が少しわかった気がしました。結局そこにもダンスはできないので、この男性に教えて貰ったその夜にやっているミロンガ(アルゼンチンタンゴのパーティー)に行く事にしました。(つづく)